

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課 地域医療室	所属長名	時田 繁	電 話	483-1151 内線2212
-----	-------	-----	-------------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3532		事務事業名称	地域医療整備基金積立金					短縮コード	経常		臨時	3532
予算区分	会計	01	一般会計	款	12	諸支出金	項	01	基金費	目	04	地域医療整備基金費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		地方自治法第241条、八千代市地域医療整備基金条例						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
地域医療体制の整備を図るため、昭和56年に地域医療整備基金を設置し、同年から積み立てを開始した。基金に属する現金を確実にかつ有利な方法で運用し、その運用から生ずる収益をさらに基金に編入するとともに、平成18年12月8日に開院した東京女子医科大学附属八千代医療センターの整備費用に基金を効果的に充当している。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総 合 計 画 の 施 策 体 系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして					
当初、公設公営による総合病院の整備を目指し、基金が設置されたが、その後の様々な社会環境の変化などを踏まえて、民設民営による東京女子医科大学附属八千代医療センターの整備を目指すに至った。そして、平成18年12月8日に東京女子医科大学附属八千代医療センターが開院した。						大項目（節）	01	保健・医療					
						中 項 目	02	医療					
						小項目（施策）	01	地域医療体制の整備・充実					
							02	救急医療体制の整備・充実					
						細 項 目	01	地域医療体制の整備					
02	救急医療体制の整備												
					実 施 計 画 の 計 画 事 業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	地域医療整備基金							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 当該基金の運用により生ずる収益を基金に編入した。							
	※平成21年度に計画していること： 20年度末で基金残高がゼロなり，基金の財源の確保が困難な状況であることから八千代市地域医療整備基金条例を廃止するため、当該事業を廃止する。							
意図 （何を狙っているのか）	基金を充当し、東京女子医科大学附属八千代医療センターの整備費用に充当する。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 9 年 度	2 0 年 度		2 1 年 度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	基金残高	円	28, 155, 705	28, 155, 705	0	0	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	当該年度の利子額	円	1, 617, 767	84, 533	127, 598	0	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	当該年度の処分額	円	500, 000, 000	28, 240, 238	28, 283, 303	0	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3532	事務事業名称	地域医療整備基金積立金				所属名	健康福祉課 地域医療室
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善☐ 事業規模の拡大・縮小☐ 統合・役割見直し☐ その他 ☒ 廃止(事業完了含む) ☐ 休止 ☐ 現状のまま継続			基金残高がゼロになり、基金の財源の確保が困難な状況であることから廃止する。			
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。	成果		経 費			基金残高がゼロになり、基金の財源の確保が困難な状況であることから廃止する。	
				削 減	不 変	増 加		
向 上				☐	☐	☐		
不 変	☒	☐	☐					
低 下	☐	☐	☐					

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
特になし。	

所属長コメント	医療センターも開院して3年目となり、地域医療体制の整備・充実に中核的な役割を果たしておりますが、財源であった地域医療整備基金積立金の残高がなくなったことにより廃止する。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善☐ 事業規模の拡大・縮小☐ 統合・役割見直し☐ その他 ☒ 廃止(事業完了含む) ☐ 休止 ☐ 現状のまま継続	担当課の評価のとおりとする。